

2020年9月24日
責任投資推進部

新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた議決権行使に関する運営方針等

- 第一生命保険は、新型コロナウイルス感染症拡大が社会・経済環境に与えている影響の甚大さに鑑み、2020年10月以降に開催される株主総会における議決権行使に関する運営方針について以下のとおり決定しましたのでお知らせ致します。
 - ◆ 業績基準に関する適用見合わせ
 - (原則)「業績不振企業における取締役選任基準」(議決権行使基準1.(1))に今後新たに抵触した企業に対して、当面の間、その適用を見合わせ、同基準に基づく取締役選任議案には原則として反対しない。
 - (例外)従前より業績の低迷が継続している以下に該当する企業については、経営体制の見直しを促す観点から、該当期間中、継続して在任している代表取締役選任議案に反対する。
 - ✓ 適用見合わせ期間以前に既に上記業績基準に抵触し、その後も当該業績基準を下回っている企業(ただし、例外基準(「考慮すべき特別な事情」)に該当する企業については除く)
 - (適用再開時期)経済情勢や企業の業績等に関する定期的なモニタリングを踏まえ、責任投資委員会にて審議のうえ、一定の周知期間を設けた後に基準の適用を再開する。
 - ◆ 上記以外の行使基準(還元基準や取締役会・監査役会出席率基準)に関する運営
 - 基準の一律適用見合わせは実施しないものの、基準に抵触する場合には、例外基準(「考慮すべき特別な事情」)を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた判断を実施する。
 - ◆ 今後の議決権行使基準の改正(2020年3月公表)
 - 公表済の改正は予定通り実施するものの、上記業績基準については、当面の間、基準の適用を見合わせる。
- また、不祥事企業における取締役および監査役等の選任基準について、責任を求める取締役・監査役の範囲を明確化する観点から2020年10月1日付けで改正を行いましたので合わせてお知らせ致します。

※詳細はこちらをご参照下さい。

[\(当社ホームページ\)新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた当面の議決権行使の運営方針等](#)[\(当社ホームページ\)議決権行使基準\(2020年10月1日改正\)](#)[\(当社ホームページ\)議決権行使基準の改正について\(2020年3月公表\)](#)